

# 総務政策常任委員会資料

令和6年10月29日(火)

総 合 政 策 部

## 目次

- ①令和7年度 重点施策の推進方針について（総合政策課）・・・・・・・・・・ 2
- ②バス利用に関する県民アンケートの結果について（総合交通課）・・・・・・・・ 5

## 令和7年度 重点施策の推進方針について

総合政策課

10年に及ぶ地方創生の取組にもかかわらず、東京一極集中の是正は進まず、昨年我が国の出生数・合計特殊出生率は過去最低を更新、本県においても過去最低水準に落ち込むなど少子化・人口減少は一層加速しており、強い危機感を持って、これまで以上に取組を強化する必要がある。

一方、コロナ禍等で落ち込んだ社会経済活動は本県においても回復基調にあり、この流れを捉えて本格的な成長軌道に乗せ、持続可能で希望あふれる宮崎を築いていくことも求められる。

このような中、総合計画アクションプランの折り返しとなる令和7年度は、日本一挑戦プロジェクトの着実な推進をはじめ、次に掲げる施策に重点的に取り組む。

### 1 日本一挑戦プロジェクトの着実な推進

#### (1) 子ども・若者プロジェクト

- ・安心して子どもを産み育てられる環境づくり

#### (2) グリーン成長プロジェクト

- ・循環型農林水産業や脱炭素経営の更なる推進

#### (3) スポーツ観光プロジェクト

- ・スポーツを核とした地域経済の活性化、観光振興

## 2 若者・女性を重視した人口減少対策の強化

### (1) 若者・女性が生き生きと活躍できる環境づくり

- ・魅力ある雇用の創出、働きやすい職場環境の整備促進
- ・処遇改善やキャリアアップへの支援
- ・価値観やライフステージに応じた柔軟で多様な働き方の推進
- ・子育て世代の負担軽減等による共働き・共育での推進

### (2) U I Jターンの更なる促進

- ・就職希望者と県内企業とのマッチング強化
- ・情報発信や受入環境等の充実による移住・定着促進

## 3 持続可能な未来に向けた基盤づくり

### (1) 国内外との更なる交流拡大

- ・広域周遊を含むインバウンド誘客の強化、観光振興
- ・海外展開・販路拡大の促進
- ・国内外との交流を支える交通・物流ネットワークの維持充実

### (2) 時代の変化に対応した力強い産業づくり

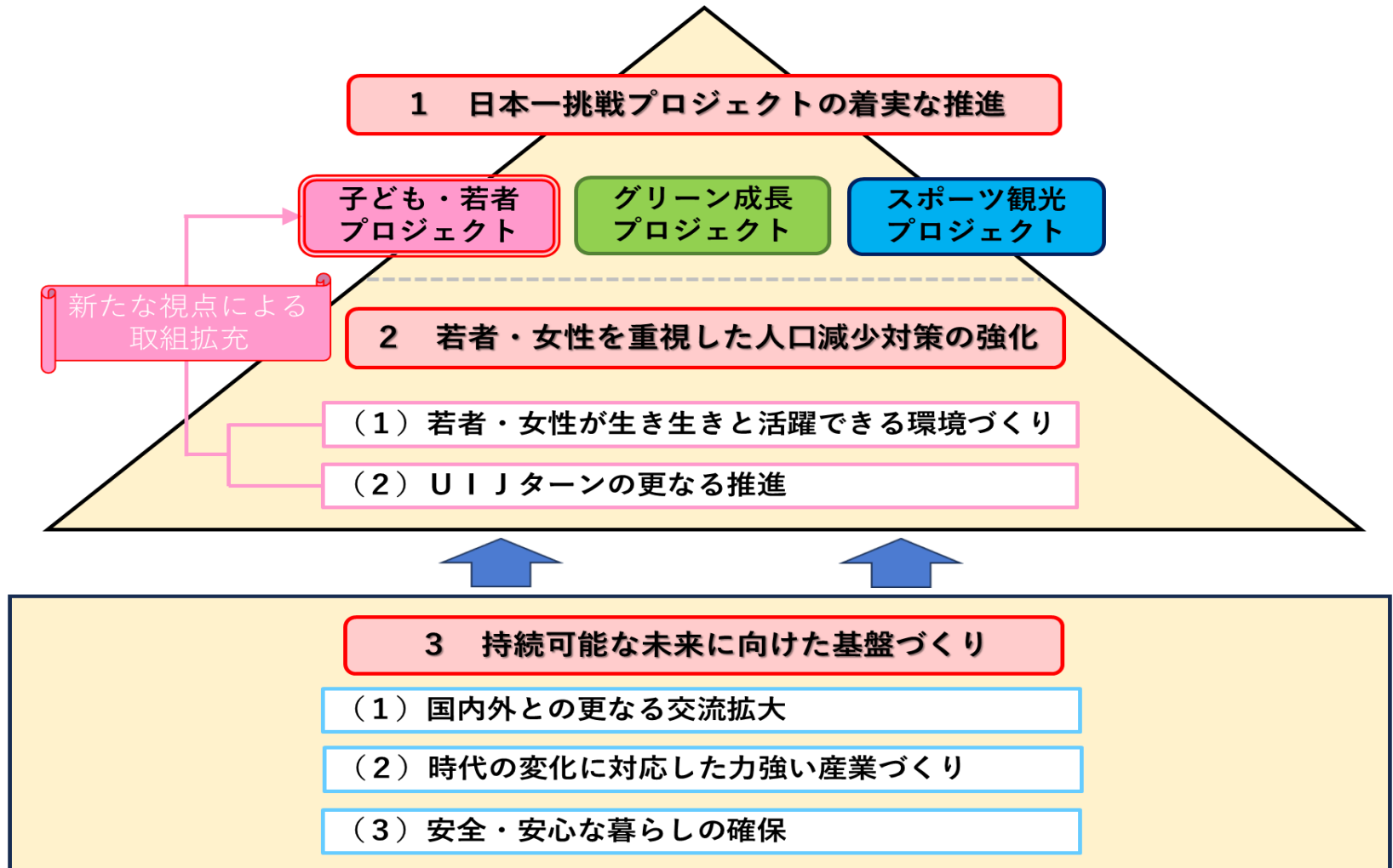
- ・産業人材の確保・育成、外国人材等の受入・定着促進
- ・産業のデジタル化・DX等の推進
- ・先端産業など付加価値の高い産業の振興、県内企業の裾野の拡大

### (3) 安全・安心な暮らしの確保

- ・地域医療・福祉の維持充実、教育の充実
- ・暮らしのデジタル化、地域資源の有効活用等を通じた日常生活に必要なサービスの維持確保
- ・災害に強い県土づくりや地域防災力の向上

①令和7年度 重点施策の推進方針について

令和7年度



総合計画アクションプラン（令和5年度～令和8年度）

## ②バス利用に関する県民アンケートの結果について

# バス利用に関する県民アンケートの結果について

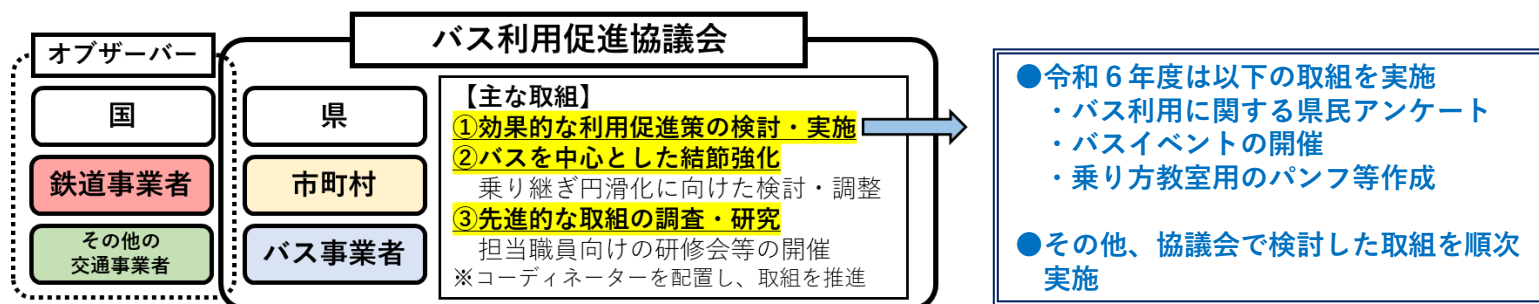
総合交通課

## 1 バス利用促進協議会

県、市町村、バス事業者等からなる「宮崎県バス利用促進協議会」を設置し、複数の市町村間をまたいで運行する広域的なバスを中心に、官民が一体となって効果的な利用促進策等を検討・実施。

### ○ 主な事業内容

- ・ 広域的かつ効果的な利用促進策の検討・実施
- ・ 結節強化（乗り継ぎの円滑化）などの利便性向上 等



### ○ これまでの取組

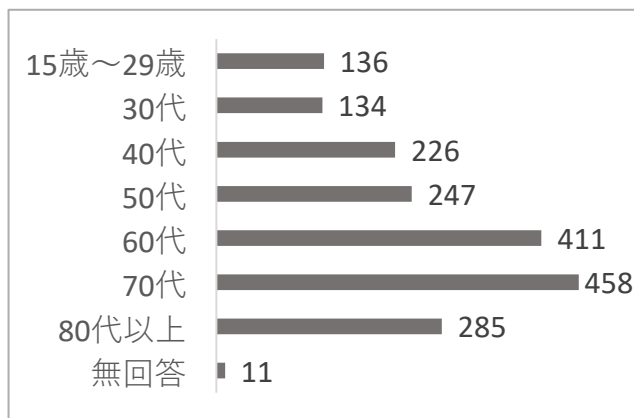
- 4月26日 第1回協議会
- 6月～7月 バス利用に関する県民アンケート
- 8月5日 第2回協議会
- 9月 圏域部会（県央、県北、県西・県南）
- 10月21日 第3回協議会

## ②バス利用に関する県民アンケートの結果について

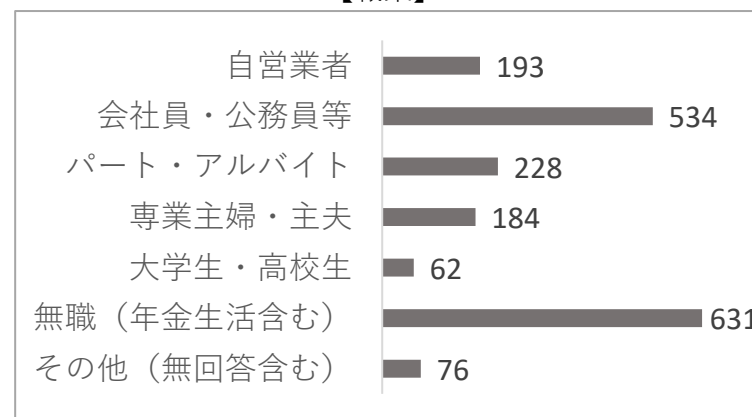
### 2 バス利用に関する県民アンケートの主な結果

- ・ アンケート 発送数 . . . . . 5, 690 件  
※市町村による無作為抽出により対象者を選定
- ・ 回収 (回収率) . . . . . 1, 908 件 (33.5%)
- ・ 回答者の属性

【年代】



【職業】



#### 共通

(n=1, 908)

Q これまでに県内で路線バスを利用したことがあるか

- ①ある . . . . . 1, 361 人 (71.3%)
- ②ない . . . . . 507 人 (26.6%)

Q 現在、バスを利用しているか

- ①利用している . . . . . 359 人 (18.8%)
- ②利用していない . . . . . 1, 535 人 (80.5%)

## ②バス利用に関する県民アンケートの結果について

**バス利用者** (n=359)

Q バスの利用目的は ※複数回答可

- |     |              |
|-----|--------------|
| ①買物 | 201人 (56.0%) |
| ②通院 | 127人 (35.4%) |

Q バスに対する満足度 ※「非常に満足」又は「満足」と答えた方の割合

【満足度が相対的に高い項目】

- |            |         |
|------------|---------|
| ①乗り心地      | (85.8%) |
| ②乗り降りのしやすさ | (79.1%) |
| ③乗務員の対応    | (77.7%) |

【満足度が相対的に低い項目】

- |              |         |
|--------------|---------|
| ①乗り継ぎのしやすさ   | (33.7%) |
| ②路線図のわかりやすさ  | (57.7%) |
| ②バス停・待合施設の設備 | (57.7%) |

Q よりバスを利用するには ※複数回答可

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ①運行本数が増える    | 225人 (62.7%) |
| ②停留所が使いやすくなる | 98人 (27.3%)  |
| ③運賃が安くなる     | 92人 (25.6%)  |

## ②バス利用に関する県民アンケートの結果について

### バス非利用者 (n=1, 535)

#### Q バスを利用しない理由は ※複数回答可

- ①自家用車やバイク等で移動するため . . . . . 1, 317人 (85. 8%)
- ②運行本数が少ないため . . . . . 385人 (25. 1%)

#### Q バスを利用したいと思うようになるためには ※複数回答可

- ①自分で運転ができなくなったら . . . . . 1, 147人 (74. 7%)
- ②運行本数が増えたら . . . . . 418人 (27. 2%)
- ③家族等の送迎がなくなったら . . . . . 413人 (26. 9%)

#### Q バスに対するイメージ ※「非常に良い」又は「良い」と答えた方の割合

##### 【イメージが相対的に良い項目】

- ①乗り心地 (48. 3%)
- ②乗り降りのしやすさ (44. 8%)
- ③乗務員の対応 (42. 1%)

##### 【イメージが相対的に悪い項目】

- ①乗り継ぎのしやすさ (16. 8%)
- ②路線図のわかりやすさ (27. 1%)
- ③料金 (29. 4%)



## ②バス利用に関する県民アンケートの結果について

バス利用に関する県民アンケートの結果を踏まえ、バス利用促進協議会において協議を行い、以下の3つの方向性を決定。

今後、他県の事例を参考にしつつ、具体的な取組について検討を行う。

### 【利用促進策の方向性】

**1** バスを1度でも使ってもらうためのきっかけづくり

.....

**2** 買い物行動にあわせたバスの利用促進

.....

**3** わかりやすい情報発信・県民の目に触れる機会を増やすPR

.....